千鳥の杜学園

城北小だより

松江市立城北小学校　学校だより　　令和７年１月号　文責：山根

３学期がスタートしました！
今年もよろしくお願いいたします

１月８日（水）から３学期がスタートしました。１月は「行く」、２月は「逃げる」、３月は「去る」と言いますが、あっという間です。実際２学期８０日にあった授業日は、６年生が４７日、１～５年生は４９日です。３学期は、今の学年の「まとめ」と、次の学年への「心構え（準備）」をつくる大切な役割のある学期です。６年生は中学校という新たなスタートに向け、小学校で身に着けた力を整理し、期待を膨らませていく期間になります。１年～５年生は、もうすぐ下の学年が１つ増え、気にかけたり、手本を示したりする場面が一層必要とされることでしょう。特に、来年高学年となる４・５年生は、今のうちに６年生の高学年としての責任を感じながら行動する姿を、しっかりと見届け、城北小のよさを引き継いでほしいと思います。「任せてください」という前向きな気持ちが抱けるよう、３学期１日１日を大切に過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今学期も引き続き本校の教育活動にご理解ご協力よろしくお願いします。

対話の時間「ほくほくタイム」やってます

今年度２学期から毎週水曜日の朝活動として８：２０から１０分間、ペアになってお互いに話を聞き合う「ほくほくタイム」を実施しています。これは最初に一中さんが取り組まれ、スタートしたものです。教育カウンセラーの曽山和彦先生の理論を柱に、「かかわりの力（自尊感情・ソーシャルスキル）」を育成することを第一の目的としています。もっとも大切なルールは、「相手の話を心を込めてうなずきながらしっかりと聞くこと」です。自分のどんな話も無条件できちんと受け止めて聞いてもらう心地よい体験が、「人とかかわる」ための大切な素地となる力の蓄積となります。また、この活動を通して、授業中の対話場面においても、身につけた対話スキルや対話のよいイメージが生かされると思っています。この取り組みを千鳥の杜学園全体で小・中継続的に実施することで、子どもたちの「かかわる力」を着実に育てたいと考えています。「ほくほく」は、城北の「北（ほく）」と心が「ほくほく温まる」という意味を込めて「ほくほくタイム」と名付けました。

ほくほくタイム話題例

- ○好きな給食メニューは？
- ○使ってみたいドラえもんの道具は？
- ○生まれ変わるなら、何になりたい？
- ○飼ってみたい生き物は？
- ○将来やってみたいと思うことは？
- ○どっちを選ぶ？ごはん・パン
- ○どっちを選ぶ？いなか・都会
- ○どっちを選ぶ？シャワー・ふろ

ほくほくタイムのルールと流れ

① あいさつ（始めと終わり）
② 相手の話をうなずきながら聞く。
③ 相手を見て話す。
④ 指示をしっかりと聞く。
⑤ ふり返り
　・楽しかった？なぜ楽しかったのかな？
　・自分や友だちについての気づきや感じたこと

たくさんの人が人権標語づくりに取り組んでくれました！その気持ちに「ありがとう」です

１２月の人権週間に併せて行った人権集会の時に、人権教育担当教員から全校児童のみなさんへ人権標語の募集を呼びかけました。その後たくさんの子どもたちが標語づくりに取り組み、全部で「２８７」点集まりました。各学年から１つずつ代表作品を紹介します。

１年　かなしいとき　やさしいことばの　かっとばん
２年　だいじょうぶ　みかたはいるよ　きみのそば
３年　知ってるよ　きみがもってる　いいところ
４年　つらいこと　みんなでいっしょに　乗り切ろう
５年　だいじょうぶ　自分が放った　その言葉
６年　受け止めよう　相手の気持ち　しっかりと

今の学年、学級の友達と過ごす日も、残すところ３学期のみとなりました。自分で考えて、伝えること、友達の考えを聞いて、さらに考えること、考えたことを行動に移すこと、簡単なことではありません。でも、だれもが「自分や友達を大切にしよう」という思いをもって過ごせたら、きっとすてきな毎日になると思います。

「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました

年末のお忙しい中、学校評価へのご協力ありがとうございました。本年度の本校の取組について、児童、保護者、教職員アンケートを行い、その成果と課題を振り返り、来年度の取組に生かしていきたいと思います。学校のことを真剣に考えていただき、貴重な評価やご意見をいただいたことに改めて感謝いたします。そして、よかった点や教職員への励まし等もいただき、活力が沸き立つ思いなりました。本当にありがとうございました。現在、集計を行い、教職員で分析や改善策を検討しています。２月号にて結果をお知らせする予定です。

２月の主な行事予定

（１月２０日現在の予定ですので、変更する場合があります。）

３日（月）３～６年子ども広場
５日（水）入学前保護者説明会
　　※１・２年生給食後下校
　　１年生できたこと発表会リハーサル（城北幼・嵩見保来校）
６日（木）６年卒業お祝いセレクト給食
７日（金）１年授業公開・親子活動⑤⑥
１０日（月）１・２年子ども広場、学校集金日
１２日（水）クラブ（最終）
１４日（金）ひこ授業公開・親子活動⑤⑥
１７日（月）３～６年子ども広場
２１日（金）②③６年生を送る会
２６日（水）委員会（最終）
２７日（木）３年授業公開⑤

「あいさつ」に込められる思い

太平洋戦争末期、航空飛行隊の特攻隊員は、出撃する前に「行ってきます」とは決して言わなかったそうです。というよりも言ってはいけなかったそうです。「行ってきます」は「行って（無事に）帰ってきます」の意味であり、特攻隊員は行って帰ってきてはいけない。だから、帰らぬ決意を込めて「行きます」と言っていたそうです。日常のあいさつで考えてみると、「行ってきます」には「行って、無事に帰ってきます」という思いが、「行ってらっしゃい」には「行って、無事に帰ってらっしゃい」という思いが込められています。さらに、「ただいま」には、「無事にただ今帰りました」という思いが、「お帰りなさい」には、「よくぞ無事にお帰りなさいました」という思いが込められているということです。これまで数えきれないほど交わしたあいさつですが、あいさつには相手を大切に思う気持ち、思いが込めれていることを忘れないようにしたいものです。学校でも職員室や校長室の扉を開けて、直接「おはようございます」「さようなら」のあいさつをしてくれる子どもたちがいます。学校を明るく、元気にしてくれるこの姿は、ありがたい限りです。